

ゼンリンミュージアムと第七管区海上保安本部によるコラボ企画 「近代海図の誕生と伊能図 ～海図150周年特別展示～」を開催

ゼンリンミュージアム(福岡県北九州市、館長:佐藤渉)は、第七管区海上保安本部(福岡県北九州市、本部長:江口満)と、2021年9月14日(火)から12月26日(日)まで、海図150周年を記念した特別展示をゼンリンミュージアムにて開催します。本展示では、海上保安庁海洋情報部などが所蔵する、幕末期から明治初期に作製された国内外の地図・海図や資料13点を紹介します。

■ 「近代海図の誕生と伊能図 ～海図150周年特別展示～」概要

1854年の開国以降、日本では海運・通商だけでなく国防の観点からも、自国での測量や海図を作製することが急務とされていました。そして、1871年9月12日(新暦)、明治政府は日本初の海図作製機関である兵部省海軍部水路局を創立します。本展示では、水路局創設の時代背景やその先駆者となった柳 檣悦^{やなぎならよし}の業績、さらに近代海図における「伊能図」の役割を地図・海図や資料とともに紹介します。なお、本展示と常設展示室 第2章の「伊能図」を一体としてご覧いただけます。

会期	2021年9月14日(火)～2021年12月26日(日)
場所	ゼンリンミュージアム 常設展示室 第2章
展示数	13点

※特別展示の観覧には、ゼンリンミュージアムの入館料が必要となります。



海図第一号「陸中國釜石港之圖」

1872年(明治5年)

(海上保安庁海洋情報部所蔵)

日本が単独で測量、製図、印刷を一貫して
行った初の近代海図。

■ Zキュレーターによる特別展示ガイドツアー

ガイドツアーでは、解説文だけでは説明しきれない作り手の思いや時代背景など、様々なエピソードを交えてご紹介します。

日時	会期中の平日(休館日を除く) 14:00～14:30
参加費	無料

※事前予約は不要です。

※参加人数により、少人数のグループに分けて複数回実施します。

※緊急事態宣言・福岡コロナ特別警報の発令期間は、ガイドツアーを中止します。

■ 留意事項

今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、会期を変更する場合がございます。最新の情報や当館の感染予防対策については、WEBサイトをご確認ください。(ゼンリンミュージアム WEB サイト <https://www.zenrin.co.jp/museum/>)

【参考資料】

■展示品を一部紹介



英国海図 No.2415「NAGASAKI HARBOUR」

1863 年

(英国水路部所蔵)

開国後、英国をはじめとする諸外国が日本沿岸の水路測量を行ったことで、日本は海防強化を迫られていく。



伊能図謄写図「伊能図第百八十一号 豊後」

明治初期

(海上保安庁海洋情報部所蔵)

水路業務で活用するため、当時、唯一の実測図であった「伊能図」300 図余りが謄写された。

■当館の概要

開館時間	10:00～17:00(最終入館 16:30)
休館日	月曜日(ただし祝日の場合は翌平日) ※この他、年末年始等、臨時に休館することがございます。
入館料	一般 1,000 円(800 円) ※通常の入館料で特別展示もご覧いただけます。 ※保護者同伴の小学生以下は無料です。 ※かっこ内は 8 名以上の団体および障がい者とその同伴の方 1 名の料金です。 団体料金は事前に予約いただいた場合にのみ適用します。 ※入館料には、パンフレット及びチケットホルダーの代金を含みます。